

学校支援本部ってなんだろう新聞

平成26年3月3日発行

発行：杉並区学校支援本部運営委員会

(事務局)杉並区教育委員会事務局学校支援課

杉並区阿佐谷南 1-15-1 TEL 3312-2111 (内) 1643

Eメール gakko-sien@city.suginami.lg.jp



第六号

学校支援本部ってなんだろう新聞の発行にあたって
「学校支援本部」とは、学校を支えるボランティア活動を組織化して、より効果的に子どもたちの学びを支える仕組みです。杉並区では、全小中学校にあり、学校の要望に応じて授業支援や学習環境の整備等にあたっています。より多くの区民の皆様へ「学校支援本部」のねらいと取組をご理解いただき、協力の輪が広がっていくことを願って、年三回、この新聞を発行しています。本部関係者のほか、教職員、保護者の皆様へ配布しています。増刷大歓迎です。皆さまからの、ちょっとイイ話、困りごと、提案なども、お寄せください。

「夢プロジェクト！ー松庵小の取組紹介ー」

学校支援本部“初”の試みである「夢プロジェクト」。25年度は8企画が取り組まれています。

今回は、松庵小学校学校支援本部が取り組んでいる「松庵小学校を国際理解教育の推進校に！」をご紹介します。

「夢プロジェクト」のコンセプトを読んで、以前から松庵小で開催したいと考えていた、絵本作家スギヤマカナヨさんのワークショップ「旅の絵本」を実現できると思いました。自分で選んだ国を事前授業で調べた子供たちが、パスポートを手に「言葉」「銀行」「観光局」「レストラン」「土産物屋」など11のブースを周り、旅の疑似体験をします。ワークショップ当日に向け、授業との密な連携、ブース担当のボランティア打合せ、資料の準備など、大がかりな準備が必要な企画なのですが、多種多様な文化や言葉、考え方に触れることで豊かな国際人を育む、という学校のお考えと一致。先生方としっかりタッグを組んで始動しました。そして、松庵小版の最後のブースは杉並区。夢を持って世界を旅した子供たちが大事な自分のわが町を再発見します。

本校支援本部では、当該学年保護者だけでなく積極的に他学年や地域の方にも授業のボランティアをお願いしています。その為、大人も関わって一緒に学ぼう、楽しもうという雰囲気年々高まっています。今回も60名超のボランティア登録があり、スギヤマさんのご協力をいただきながら、2月27日当日に向けて着々と準備が進んでいます。そして、先生方が同じ方向を向いて頑張ってくださいているのは、子供にとっても保護者にとっても嬉しいもの。保護者からは、「子供が入学してから私自身挨拶する人がどんどん増えました！」との嬉しい言葉が聞けました。

(学校・地域コーディネーター：花井香さん)



おめでとう！

《桃井第四小学校》

平成25年度文部科学大臣表彰 受賞

(優れた「地域による学校支援活動」推進)



「学校・地域コーディネーター研修」・・・修了者の感想

1 回目の研修では戦後からの学習指導の変遷を伺い、自分が学校から離れていた空白の部分埋めることができ大変興味深かったです。

2 回目とスキルアップ研修では、行政の方から今日のキャリア教育と地域支援の必要性を講演いただき、国際教育調査による日本の学力と世界の学力、学習に於ける意識の違いや現状を知り、今行政が取り組んでいることはしっかりとした裏付けによるものだということが分かりました。また、理科教室、調理室、プール等の施設が揃っている、どこに行っても一定の条件が確保された小中学校がある国というのは日本くらいということ伺い、改めて行政ってすごいと思いました。

毎回のワークショップで他校の活動を知ることができたのも、とても有意義でした。

今、公立学校は地域に開かれ、学校、家庭、地域の3本柱で子供を育てていく体制づくりを進めています。その要となるのは柱のバランスではないかと思います。学校が主導であること、そこに下支えとして温かい手が集まる、小さな力ではありますが、支援の一助になればと思います。

(和田中学校支援本部：伊藤真子さん)

～第二回分区連絡学習会～開催速報！



平成25年12月から平成26年1月にかけて、「学校と共に歩む学校支援本部のありかた」をテーマに、中学校4分区単位で《学校・地域コーディネーター》と《教員》が参加して、話し合いました。

教員からは、「他校の活動例を知り、目から鱗が落ちた。」「こんなこともお願いできるんだ！」「本部は仲間・お母さんのようだ！」といった感動の声や、「学校支援本部の支援はありがたいのでうまく活用したいが、どこまでお願いして良いかわからない。」といった悩み等が出されました。

学校・地域コーディネーターからは、「先生には、遠慮なく言ってほしい。」「声を掛け合って一緒に活動していきたい。」「新しく赴任された先生に学校支援本部のことを伝えるのも自分たちの役目では。」等、教員との連携を意識した声が多く聞かれました。

会のまとめでは、「本部と学校の目的は同じ。子どもの笑顔のためだ！」「学校・本部共に、ステージを上げていこう、メンバーを開拓していこう！」という意見が出されるなど、各分区とも前向きな気持ち溢れる場となりました。

目から鱗の活動例紹介

よろず相談... 学校行事や新入生説明会で現役保護者の相談に乗る機会を設ける

学校支援本部活動表...職員室の中に、学校支援本部の活動予定・実績を学年ごとに2年分掲示。先生が昨年度の活動内容や時期を確認でき、今年度の支援や学校支援本部活動の理解促進につなげている。

卒業生を活用したボランティア(学校行事のサポートや進路説明)

(文責：学校支援課)

土曜授業がはじまります！

平成26年度から全杉並区立小・中学校において、月1～2回程度「土曜授業」がはじまります。平日の学習の延長ではなく、土曜日のメリットを生かし、各学校や学校支援本部のこれまでの取組成果を踏まえた、地域と連携した体験的活動等を実施します。これからの社会をつくっていく子どもたちが、多様な大人と出会い、豊かな学びの機会を得られるよう、多くの区民の皆様のご協力をお願いします。(文責：学校支援課)

みなさんの声をご紹介します

「学校支援本部ってなんだろう新聞・第五号」の電子データ配布、ありがとうございました。支援本部は人材確保が一番難しいように思いますので、何かよい情報があれば教えてください。

ところで、筑波大学の藤田晃之先生をお呼びしての「学校・地域コーディネーター(スキルアップ)研修」、素晴らしいですね。区内の研修であれば、私も参加したかったです。藤田先生のキャリア教育の話は、教員にもぜひ聴いてほしいですね。現在の日本のキャリア教育推進の中心の方だと思います。また、お呼びするようなことがあれば、区立全学校にもご案内ください。(済美養護学校長：松浦隆太郎さん)

ご意見、ありがとうございます。皆様もぜひ、お気軽に感想などお寄せくださ～い！！